

科目名	社会科学講義(政治)					
科目名(英)						
単位数	4単位 (2単位に相当)	時間数	30時間/60時間	担当者	安藤 亮英	
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員専攻科1年					
授業概要	公務員一次試験の頻出単元である「社会科学(政治・社会)」での得点率を上げることを学習目標に授業を行う。政治・社会各分野の要点を踏まえ、問題演習を重ねることで「社会科学(政治経済)」の受験攻略のポイントの修得につなげる。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					政治分野の要点を学び、試験問題で問われる知識の概要を説明できる。
	○					社会分野の要点を学び、試験問題で問われる知識の概要を説明できる。
	○	○				試験で問われる政治・社会分野の知識を用い、試験問題で正答を選択できる。
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【社会科学】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年) ・一問一答暗記テキスト2022年度『原点』					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	統治機構 三権分立			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。	
	2	統治機構 国会①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。	
	3	統治機構 国会②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。	
	4	統治機構 国会③			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。	
	5	統治機構 内閣			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。	
	6	統治機構 裁判所①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。	
	7	統治機構 裁判所②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。	
	8	日本国憲法の基本的性格①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。	
	9	日本国憲法の基本的性格②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。	
	10	地方自治①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。	
	11	地方自治②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。	
	12	選挙制度①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。	
	13	選挙制度②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。	
	14	民主主義の発展			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。	
	15	各国の政治制度①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。	
	16	各国の政治制度②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。	
	17	基本的人権の尊重 (1)自由権①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。	
	18	基本的人権の尊重 (1)自由権②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。	
	19	基本的人権の尊重 (2)社会権			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。	
	20	基本的人権の尊重 (2)参政権・請求権			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。	
	21	基本的人権の尊重 (3)その他、前提となる人権など			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。	
	22	国際政治と日本①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。	
	23	国際政治と日本②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。	
	24	国際政治と日本③			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。	
	25	国際政治と日本④			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。	
	26	国際政治と日本⑤			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。	
27	社会保障・情報化			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。		

	28	労働事情	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答 暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。				
	29	環境問題	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答 暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。				
	30	農業問題	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。一問一答 暗記テキスト『原点』の該当箇所を学習しておくこと。				
評価方法	4月～7月での小テストでの得点率を100点満点に換算し評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。対象となる小テストは別途告知する。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	社会科学講義(経済)						
科目名(英)							
単位数	4単位 (1単位に相当)	時間数	15時間/60時間	担当者	横山 真太郎		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)での頻出単元である「社会科学(経済)」での得点率を上げることを学習目標に授業を行う。経済分野の要点を踏まえ、問題演習を重ねることで「社会科学(政治経済)」の受験攻略のポイントの修得につなげる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					経済分野の要点を学び、試験問題で問われる知識の概要を説明することができる。	
	○	○				試験問題で問われる知識を活用でき、試験問題の正答を選択することができる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> 『絶対合格シリーズ【社会科学】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年) 一問一答暗記テキスト2022年度『原点』 授業時に配布されるプリント 						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	経済のしくみ 市場と価格①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	2	経済のしくみ 市場と価格②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	3	企業のしくみ			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	4	景気と物価			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	5	金融と日本銀行の金融政策			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	6	財政政策①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	7	財政政策②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	8	為替レートと貿易			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	9	国際経済との関わり①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	10	国際経済との関わり②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	11	国民所得と経済成長①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	12	国民所得と経済成長②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	13	現代日本経済の構造と課題①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	14	現代日本経済の構造と課題②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	15	経済学史			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
評価方法	4月～7月での小テストでの得点率を100点満点に換算し評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。対象となる小テストは別途告知する。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	社会科学講義(社会科学演習)						
科目名(英)							
単位数	4単位 (1単位に相当)	時間数	15時間/60時間	担当者	横山 真太郎/安藤 亮英		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)での頻出単元である「社会科学(政治経済)」での得点率を上げることを学習目標に掲げ講義演習を行う。政治経済分野の要点を踏まえ、問題演習を中心に小テストで知識の確認を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				社会科学(政治経済)分野の要点を理解し、初級程度公務員試験問題の解答で平均正答率80%を達成できる。	
テキスト・教材参考図書	<ul style="list-style-type: none"> 『絶対合格シリーズ【社会科学】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年) 『絶対合格シリーズ【社会科学】問題集編』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年) 授業時に配布されるプリント 						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
		横山担当					
	1	市場・価格				社会科学講義(政治経済)の履修単元の復習を行うておくこと。	
	2	企業				社会科学講義(政治経済)の履修単元の復習を行うておくこと。	
	3	景気と物価				社会科学講義(政治経済)の履修単元の復習を行うておくこと。	
	4	金融(1)				社会科学講義(政治経済)の履修単元の復習を行うておくこと。	
	5	金融(2)				社会科学講義(政治経済)の履修単元の復習を行うておくこと。	
	6	財政(1)				社会科学講義(政治経済)の履修単元の復習を行うておくこと。	
	7	財政(2)				社会科学講義(政治経済)の履修単元の復習を行うておくこと。	
		安藤担当					
	8	三権分立(1)				社会科学講義(政治経済)の履修単元の復習を行うておくこと。	
	9	三権分立(2)				社会科学講義(政治経済)の履修単元の復習を行うておくこと。	
	10	国会				社会科学講義(政治経済)の履修単元の復習を行うておくこと。	
	11	内閣				社会科学講義(政治経済)の履修単元の復習を行うておくこと。	
	12	裁判所				社会科学講義(政治経済)の履修単元の復習を行うておくこと。	
	13	地方自治				社会科学講義(政治経済)の履修単元の復習を行うておくこと。	
14	選挙制度				社会科学講義(政治経済)の履修単元の復習を行うておくこと。		
15	国際政治				社会科学講義(政治経済)の履修単元の復習を行うておくこと。		
評価方法	4月～7月での小テストでの得点率を100点満点に換算し評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。対象となる小テストは別途告知する。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがある。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	人文科学講義(日本史)				
科目名(英)					
単位数	5単位 (2単位に相当)	時間数	30時間/75時間	担当者	武内 淳
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員専攻科1年				
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)での頻出単元である「人文科学(日本史)」での得点率を上げることを学習目標に授業を行う。日本政治史の流れを中心に要点を踏まえたうえで、問題演習を重ねることで「人文科学(日本史)」の得点率向上につなげる。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
		○			
		○			
	目標				
	日本史の要点について学び、試験問題で問われる知識の概要を説明することができる。				
	講義を通し公務員試験に必要な内容を履修し、自ら学習ができる。				
	歴史を通して現代社会における課題や現状を自己の見解で述べるができる。				
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> 『絶対合格シリーズ【人文科学】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年) 一問一答暗記テキスト2022年度『原点』 授業時に配布されるプリント 				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	古代1	縄文時代～大和時代		テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。
	2	古代2	飛鳥時代～大化の改新		テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。
	3	古代3	律令国家の完成		テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。
	4	古代4	奈良時代		テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。
	5	古代5	平安時代		テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。
	6	古代6	平安時代末期		テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。
	7	文化史①	飛鳥文化～平安文化		テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。
	8	中世1	鎌倉時代①	執権政治と蒙古襲来	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。
	9	中世2	鎌倉時代②	鎌倉時代末期	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。
	10	中世3	南北朝時代～室町時代初期 下剋上の世の中		テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。
	11	中世4	室町時代中期以降～ 室町時代末期		テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。
	12	文化史②	鎌倉～室町～南北朝文化		テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。
	13	近世1	安土桃山時代		テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。
	14	近世2	江戸時代①	江戸初期の外交	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。
	15	近世3	江戸時代②	幕藩体制の動揺	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。
	16	近世4	江戸時代③	諸外国の接近と幕政改革	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。
	17	近世5	江戸時代④	開国とその影響	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。
	18	近世6	江戸時代⑤	幕末の政局	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。
	19	近世7	江戸時代⑥	幕末～明治維新	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。
	20	文化史③	元禄文化～化政文化		テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。
	21	近代1	明治①		テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。
	22	近代2	明治②		テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。
	23	近代3	明治③		テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。
	24	近代4	明治④		テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。
	25	近代5	大正①		テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。
	26	文化史④	明治～大衆文化		テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。
27	近代6	昭和①		テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	

	28	近代7 昭和②	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	29	現代1 戦後① 戦後処理と復興	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	30	現代2 戦後② 高度経済成長	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
評価方法	4月～7月での小テストでの得点率を100点満点に換算し評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。対象となる小テストは別途告知する。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	人文科学講義(世界史)					
科目名(英)						
単位数	5単位 (2単位に相当)	時間数	30時間/75時間	担当者	児玉 博基	
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員専攻科1年					
授業概要	高校世界史の中から公務員試験と関係の深い箇所を履修する。 基本的には「ヨーロッパ・アメリカ史」と「アジア史」に分けて、それぞれの地域を「古代」「中世」「近世」「近代」「現代」と時代順に進め、公務員試験に対応できるレベルの獲得を目指す。授業はおもに政治史を中心に進めるが、時折文化史や社会経済史にも触れる。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	
	○					中国史をよく理解し、公務員試験(模試)で正答を選ぶことができる。
	○					ヨーロッパ史をよく理解し、公務員試験(模試)で正答を選ぶことができる。
	○					近現代史をよく理解し、公務員試験(模試)で正答を選ぶことができる。
	○					論理的思考や多様な視点を身につけ、世界情勢に関心を持つことができる。
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> 『絶対合格シリーズ【人文科学】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年) 一問一答暗記テキスト2022年度『原点』 授業で配布されるプリント 					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	古代ギリシア			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	2	ローマ帝国			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	3	ゲルマン民族、フランク王国			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	4	中世のローマ教皇、十字軍			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	5	ルネサンス			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	6	大航海時代			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	7	宗教改革			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	8	絶対王政			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	9	ピューリタン革命～名誉革命			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	10	アメリカ独立革命			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	11	フランス革命			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	12	ナポレオン戦争			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	13	産業革命			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	14	ウィーン体制			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	15	19世紀ヨーロッパ各国			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	16	帝国主義の世界分割			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	17	第一次世界大戦			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	18	ロシア革命、ヴェルサイユ体制			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	19	世界恐慌			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	20	第二次世界大戦			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	21	冷戦の始まり			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	22	冷戦の経過			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	23	中国史1(殷～後漢)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	24	中国史2(後漢～南北朝)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	25	中国史3((隋～唐)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	26	中国史4(宋・金～モンゴル帝国～元)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	27	中国史5(明～清)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	

	28	中国史6(清末と西欧列強)	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	29	中国史7(中華民国)	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	30	中国史8(中華人民共和国)	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
評価方法	4月～7月での小テストでの得点率を100点満点に換算し評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。対象となる小テストは別途告知する。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	人文科学講義(地理)						
科目名(英)							
単位数	5単位 (1単位に相当)	時間数	15時間/75時間	担当者	横山 真太郎		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)で、頻出単元になる「人文科学(地理)」での得点率を上げることを目標に講義を行う。世界各地の地形・気候の特徴を中心に、要点を踏まえたくて問題演習を重ねながら公務員試験(地理)の得点率向上を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					地理分野の要点を学び、試験問題で問われる知識の概要を説明することができる。	
	○	○				試験問題で問われる知識を活用でき、試験問題の正答を選択することができる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> 『絶対合格シリーズ【人文科学】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年) 『新詳高等地図』(帝国書院、2021年) ・一問一答暗記テキスト2022年度『原点』 授業時に配布されるプリント 						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	【はじめに】地理の基礎知識			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	2	気候(1)(2)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	3	風・日本の気候			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	4	地形(1)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	5	地形(2)(3)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	6	地図			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	7	世界の農牧業(1)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	8	世界の農牧業(2)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	9	生産量・輸出量・発電			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	10	東アジア(1)(2)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	11	東南アジア(1)(2)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	12	南アジア			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	13	西アジア			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	14	アフリカ			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	15	ヨーロッパ(1)(2)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
評価方法	4月～7月での確認テスト(小テスト)での得点率を100点満点に換算し評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。対象となる小テストは別途告知する。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがある。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	自然科学講義(数学)						
科目名(英)							
単位数	4単位 (1単位に相当)	時間数	15時間/60時間	担当者	山本 剛		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	公務員採用試験で出題されやすい単元を、授業内で配布される演習プリントや麻生オリジナルテキストを使用して学習する。また、問題演習を通して本試験の傾向も学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					各単元の基本的解法を習得する。	
		○				公務員試験本試験問題解答時に、適切な解法を導き出し正しく解答できる。	
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【自然科学】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年) ・授業時に配布されるプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	展開、因数分解					
	2	平方根(基本計算:足し算・引き算・掛け算・割り算)					
	3	平方根(有理化)、一次関数(1)					
	4	一次関数(2)					
	5	一次関数(3)、二次方程式・二次不等式(1)					
	6	二次方程式・二次不等式(2)					
	7	第1講義～第5講義の復習・調整					
	8	二次関数(1)					
	9	二次関数(2)					
	10	二次関数(3)					
	11	二次関数(4)					
	12	三角比(1)					
	13	三角比(2)					
	14	三角比(3)					
	15	第8講義～第14講義の復習・調整					
評価方法	4月～7月の模擬試験における得点率を100点満点に換算し評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	自然科学講義(化学・物理)						
科目名(英)							
単位数	4単位 (1単位に相当)	時間数	15時間/60時間	担当者	中泉 満智栄		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	自然科学分野の化学・物理について、公務員採用試験に出題される単元を中心に、麻生オリジナルテキストおよび授業内で配布するプリントを使用し学習する。また、過去に出題された公務員試験問題や麻生オリジナルの類似問題を解き、本試験の出題傾向を学ぶとともに知識を確実なものとする。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					化学・物理の要点を学び、試験問題で問われる知識の概要を説明することができる。	
		○				講義を通し公務員試験に必要な内容を履修し、自ら学習ができる。	
テキスト・教材 参考図書	『絶対合格シリーズ【自然科学】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	【化学】物質の構造1 周期表・基本事項・物質の構造(解説1~2)					
	2	【化学】物質の構造2 物質の構造(解説3~6)					
	3	【化学】モル・化学反応式					
	4	【化学】酸と塩基					
	5	【化学】酸化・還元1 酸化・還元(解説1~4)					
	6	【化学】酸化・還元2 酸化・還元(解説5~7)					
	7	【化学】周期表					
	8	【化学】気体					
	9	【化学】気体の性質・溶解度					
	10	【化学】金属の性質					
	11	【物理】力					
	12	【物理】滑車・てんびん・ばね・浮力					
	13	【物理】物体の運動					
	14	【物理】仕事・力学的エネルギー・熱量					
15	【物理】電気						
評価方法	4月~7月での小テストでの得点率を100点満点に換算し評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。対象となる小テストは別途告知する。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	自然科学講義(地学・物理)						
科目名(英)							
単位数	4単位 (1単位に相当)	時間数	15時間/60時間	担当者	堀 津与志		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	自然科学分野の地学・物理について、公務員採用試験に出題される単元を中心に、麻生オリジナルテキストおよび授業内で配布するプリントを使用し学習する。また、過去に出題された公務員試験問題や麻生オリジナルの類似問題を解き、本試験の出題傾向を学ぶとともに知識を確実なものとする。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					地学・物理の要点を学び、試験問題で問われる知識の概要を説明することができる。	
		○				講義を通し公務員試験に必要な内容を履修し、自ら学習ができる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> 『絶対合格シリーズ【自然科学】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年) 授業時に配布されるプリント 						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	【地学】地球の内部					
	2	【地学】地震					
	3	【地学】岩石					
	4	【地学】火山					
	5	【地学】地球の歴史					
	6	【地学】大気 of 構成					
	7	【地学】天気1 (気圧)					
	8	【地学】天気2 (日本の天気)					
	9	【地学】地球の運動					
	10	【地学】太陽・月					
	11	【地学】太陽系の天体					
	12	【地学】恒星と宇宙					
	13	【物理】波動1 (音と光)					
	14	【物理】波動2 (波の性質)					
15	【地学・物理 総合】地学・物理の復習						
評価方法	4月～7月での小テストでの得点率を100点満点に換算し評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。対象となる小テストは別途告知する。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	自然科学講義(生物)						
科目名(英)							
単位数	4単位 (1単位に相当)	時間数	15時間/60時間	担当者	大村 彩		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	自然科学分野の生物について、公務員採用試験に出題される単元を中心に、麻生オリジナルテキストを使用し学習する。また、過去に出題された公務員試験問題や麻生オリジナルの類似問題を解き、本試験の出題傾向を学ぶとともに知識を確実なものとする。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					生物の要点を学び、試験問題で問われる知識の概要を説明することができる。	
		○				講義を通し公務員試験に必要な内容を履修し、自ら学習ができる。	
テキスト・教材 参考図書	『絶対合格シリーズ【自然科学】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	生体のつくり					
	2	細胞分裂・生殖					
	3	遺伝					
	4	酵素					
	5	異化(呼吸・発酵)					
	6	同化(光合成・窒素同化)					
	7	刺激と反応1 (神経系)					
	8	刺激と反応2 (目・耳・筋肉)					
	9	恒常性と調節1 (血液)					
	10	恒常性と調節2 (肝臓・腎臓・自律神経)					
	11	恒常性と調節2 (ホルモン・免疫)					
	12	植物の反応・動物の行動①					
	13	植物の反応・動物の行動②					
	14	生態系・進化					
	15	まとめ					
評価方法	4月～7月での小テストでの得点率を100点満点に換算し評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。対象となる小テストは別途告知する。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	文章理解講義(和文)						
科目名(英)							
単位数	2単位 (1単位に相当)	時間数	15時間/30時間	担当者	豊田 亮		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	『文章理解』が「情報処理」であることを徹底して指導する。具体的には、高校までに学習した『現代文』のように「行間を読む」(≠「解釈」)のではなく、「書かれていること」のみを理解する学問であることを問題演習を通して、理解させる。公務員試験は、「近代」が抱える問題を扱う文章が多いため、適宜、その歴史的・思想的なバックボーンも指導することで理解を助ける。また、国語分野の「知識テスト」を導入する。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				本試験における標準レベルの問題(文章読解)について、正解に達することができる。	
	○	○				本試験における標準レベルの問題(国語分野)について、正解に達することができる。	
				○		日々の課題(=小テスト)への取り組みを通して、学習意欲を高める。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> 『絶対合格シリーズ【文章理解】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年) 『オープンセサミ国家公務員・地方初級 文章理解・国語』(東京アカデミー) 						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	概要説明(①「文章理解」とは何か? ②設問ごとの特徴)			国語の知識テストの対策		
	2	問題演習(内容合致)、国語テスト			国語の知識テストの対策		
	3	問題演習(内容合致)、国語テスト			国語の知識テストの対策		
	4	問題演習(内容合致)、国語テスト			国語の知識テストの対策		
	5	問題演習(要旨)、国語テスト			国語の知識テストの対策		
	6	問題演習(要旨)、国語テスト			国語の知識テストの対策		
	7	問題演習(文章整序)、国語テスト			国語の知識テストの対策		
	8	問題演習(文章整序)、国語テスト			国語の知識テストの対策		
	9	問題演習(文章整序)、国語テスト			国語の知識テストの対策		
	10	問題演習(空欄補充)、国語テスト			国語の知識テストの対策		
	11	問題演習(空欄補充)、国語テスト			国語の知識テストの対策		
	12	問題演習(空欄補充)、国語テスト			国語の知識テストの対策		
	13	総合問題演習(内容合致・要旨・空欄補充・文章整序)			国語の知識テストの対策		
	14	総合問題演習(内容合致・要旨・空欄補充・文章整序)			国語の知識テストの対策		
	15	総合問題演習(内容合致・要旨・空欄補充・文章整序)			国語の知識テストの対策		
評価方法	4月～7月の模擬試験における教科正答率(模擬試験における文章理解(和文)のみの正答率)を100点満点に換算し、評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	文章理解講義(英文)						
科目名(英)							
単位数	2単位 (1単位に相当)	時間数	15時間/30時間	担当者	豊田 亮		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	公務員試験で要求される高校英文法(※標準レベル)の定着。毎授業、導入では中学レベルの復習をし、基本の徹底を図る。単に、英文法問題に正答するための授業ではなく、「語彙+文法=英文解釈」という王道の公式に結びつく授業を目指す。そのため、毎週、「単語テスト」を課すことで語彙力も養成していく。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				本試験における標準レベルの問題(英文法)について、正解に達することができる。	
	○	○				本試験における標準レベルの問題(英文解釈)について、正解に達することができる。	
				○		日々の課題(=小テスト)への取り組みを通して、学習意欲を高める。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> 『絶対合格シリーズ【文章理解】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年) 『英単語ターゲット1900』(旺文社) 『高校リード問題集 英文法A』(教育開発出版) 						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	品詞、文構造(5文型)、単語テスト			『ターゲット1900』の単語テスト対策		
	2	時制①(現在・過去・未来)、単語テスト			『ターゲット1900』の単語テスト対策		
	3	時制②(現在完了・過去完了)、単語テスト			『ターゲット1900』の単語テスト対策		
	4	助動詞、単語テスト			『ターゲット1900』の単語テスト対策		
	5	受動態、単語テスト			『ターゲット1900』の単語テスト対策		
	6	不定詞①(名詞的・形容詞的・副詞的用法)、単語テスト			『ターゲット1900』の単語テスト対策		
	7	不定詞②(too～to…など頻出慣用表現)、単語テスト			『ターゲット1900』の単語テスト対策		
	8	動名詞、単語テスト			『ターゲット1900』の単語テスト対策		
	9	比較①(as 原級 as、比較級、最上級)、単語テスト			『ターゲット1900』の単語テスト対策		
	10	比較②(頻出慣用表現、問題演習)、単語テスト			『ターゲット1900』の単語テスト対策		
	11	接続詞、単語テスト			『ターゲット1900』の単語テスト対策		
	12	関係代名詞①(主格・所有格・目的格)、単語テスト			『ターゲット1900』の単語テスト対策		
	13	関係代名詞②(関係副詞、問題演習)、単語テスト			『ターゲット1900』の単語テスト対策		
	14	仮定法、単語テスト			『ターゲット1900』の単語テスト対策		
	15	英文解釈の方法、単語テスト			『ターゲット1900』の単語テスト対策		
評価方法	4月～7月の模擬試験における教科正答率(模擬試験における文章理解(和文)のみの正答率)を100点満点に換算し、評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがある。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	判断推理講義(判断論理)				
科目名(英)					
単位数	3単位 (2単位に相当)	時間数	30時間/45時間	担当者	江藤 弘明
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員専攻科1年				
授業概要	判断推理の論理分野において、公務員採用試験に出題される単元を中心に、麻生オリジナルテキストと授業内で配布されるプリントを使用し学習する。また、過去に出題された公務員試験問題や麻生オリジナルの類似問題を解くことで本試験の出題傾向を学ぶ。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
		○			
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【判断推理】テキスト編・問題集編・ドリル編』(株)麻生キャリアサポート、2022年) ・オリジナル演習プリント				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	対応関係(1)2つの事柄			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。
	2	対応関係(2)場合分け・間接的な表現			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。
	3	対応関係(3)組合せ			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。
	4	試合・勝敗(1)リーグ戦			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。
	5	試合・勝敗(2)トーナメント戦			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。
	6	試合・勝敗(3)特殊なパターン・勝率			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。
	7	論理(1)三段論法			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。
	8	論理(2)左または右かつ			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。
	9	論理(3)ベン図			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。
	10	うそつき(1)グループ分け			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。
	11	うそつき(2)半分半分			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。
	12	うそつき(3)犯人捜し			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。
	13	順序関係(1)数直線と平均			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。
	14	順序関係(2)ブロック化			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。
	15	順序関係(3)順序の変動・折り返し			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。
	16	順序関係(4)樹形図・時刻と時計のずれ			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。
	17	集合・人数(1)ベン図			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。
	18	集合・人数(2)キャロル表			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。
	19	集合・人数(3)最大・最小			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。
	20	位置・方位(1)位置			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。
	21	位置・方位(2)円卓			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。
	22	位置・方位(3)方位			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。
	23	暗号(1)対応規則			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。
	24	暗号(2)いろいろな暗号			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。
	25	手順(1)天秤・ニセ金			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。
	26	手順(2)帽子・油分け算			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。
	27	手順(3)ハノイの塔・定員有の移動			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。

	28	数量推理(1)鳩ノ巣原理・○×の問題	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。 問題集、プリントなど演習問題を解く。				
	29	数量推理(2)数量関係	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。 問題集、プリントなど演習問題を解く。				
	30	暦・カレンダー	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。 問題集、プリントなど演習問題を解く。				
評価方法	4月～7月の模擬試験における判断推理の得点率を算出し、100点満点に換算し評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	判断推理講義(判断図形)						
科目名(英)							
単位数	3単位 (1単位に相当)	時間数	15時間/45時間	担当者	中泉 満智栄		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	判断推理の図形分野において公務員採用試験出題される単元を中心に、麻生オリジナルテキストと授業内で配布されるプリントを使用し学習する。また、過去に出題された公務員試験問題や、麻生オリジナルの類似問題を解くことで本試験の出題傾向を学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					判断図形各単元の基本的解法を習得する。	
		○				題意を読み解き、図を用いた適切な解法を身に付け、公務員試験問題に正答できる。	
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【判断推理】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年) ・配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	折り紙					
	2	道順					
	3	位相					
	4	展開図①組み立て方					
	5	展開図②サイコロ					
	6	平面図形①数え上げ					
	7	平面図形②断片の組み立て					
	8	軌跡①直線上の軌跡					
	9	軌跡②円周上の軌跡					
	10	軌跡②円周上の軌跡					
	11	空間図形の分割①着色・串刺し					
	12	空間図形の分割②切断					
	13	多面体・切断・投影					
	14	空間図形の投影					
	15	まとめ問題演習					
評価方法	4月～7月の模擬試験における判断図形の得点率を算出し、100点満点に換算し評価する。個々の平均得点にて下記の基準に沿って評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	数的推理講義(数的論理)				
科目名(英)					
単位数	3単位 (2単位に相当)	時間数	30時間/45時間	担当者	高木 愛
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員専攻科1年				
授業概要	公務員試験において過去に出題された数的推理の解法を学び、数量課題の分析、理解と、計算式を用いた論理問題の解き方を習得する。解法パターンを学ぶとともに、情報を整理したり、分解したりするなど数学的思考を身に付ける。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
		○			
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【数的推理・資料解釈】テキスト編・問題集編・ドリル編』 (株式会社麻生キャリアサポート、2022年) ・オリジナル演習プリント				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	濃度①	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。		
	2	濃度②	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。		
	3	年齢	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。		
	4	売買損益	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。		
	5	平均	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。		
	6	旅人算①	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。		
	7	旅人算②	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。		
	8	通過算	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。		
	9	流水算	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。		
	10	時計算	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。		
	11	その他速さの問題	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。		
	12	仕事算①	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。		
	13	仕事算②	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。		
	14	ニュートン算	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。		
	15	連立方程式①	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。		
	16	連立方程式②	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。		
	17	不定方程式	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。		
	18	比と割合	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。		
	19	記数法	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。		
	20	約数・倍数①	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。		
	21	約数・倍数②	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。		
	22	整数	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。		
	23	数列・規則①	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。		
	24	数列・規則②	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。		
	25	その他の数量問題	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。		
	26	場合の数①	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。		
	27	場合の数②	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。問題集、プリントなど演習問題を解く。		

	28	確率①	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。 問題集、プリントなど演習問題を解く。				
	29	確率②	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。 問題集、プリントなど演習問題を解く。				
	30	確率③	授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。 問題集、プリントなど演習問題を解く。				
評価方法	4月～7月の模擬試験における数的推理の得点率を算出し、100点満点に換算し評価する。成績評価基準は、 S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することが ありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	数的推理講義(数的図形)						
科目名(英)							
単位数	3単位 (1単位に相当)	時間数	15時間/45時間	担当者	中泉 満智栄		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	公務員試験必須の科目となる数的推理について、公務員採用試験に出題される単元を中心に、麻生オリジナルテキストと授業内で配布されるプリントを使用し学習する。また、過去に出題された公務員試験問題や、麻生オリジナルの類似問題を解くことで本試験の出題傾向を学ぶと共に、知識を確実なものとする。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					頻出パターンを理解し、各単元の基本的解法や必要となる数学的知識を身に付ける。	
		○				数学的思考力・論理力を応用して、本試験問題に解答できる適切な解法を身に付ける。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> 『絶対合格シリーズ【数的推理】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年) 『絶対合格シリーズ【数的推理】問題集編』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年) 配布プリント 						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	三角形と多角形(内角・外角・対角線)			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	2	三角形と多角形(有名三角形、相似)			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	3	三角形と多角形(三平方の定理、チェバ・メネラウスの定理)			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	4	円(円周角、接弦定理)			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	5	円(内接円、円と接線)			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	6	「三角形と多角形」「円」総合演習			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	7	面積(三角形)(面積の加減、三角形の高さ)			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	8	面積(三角形)(面積比)			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	9	面積(円・扇形)			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	10	面積(その他)			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	11	立体(体積・表面積・展開図)(体積、表面積)			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	12	立体(体積・表面積・展開図)(体積比、展開図)			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	13	立体(切断・回転図・その他)(立体の切断)			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	14	立体(切断・回転図・その他)(回転体)			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	15	総合演習			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
評価方法	4月～7月の模擬試験における数的推理の得点率を算出し、100点満点に換算し評価する。個々の平均得点にて下記の基準に沿って評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とするなお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがある。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	資料解釈講義						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	吉武 伸生		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	公務員試験で出題される資料解釈分野について、出題される単元を中心に、麻生オリジナルテキストと問題集、演習プリントなどを使用し学習する。過去問題や類似問題、解法パターンを学ぶとともに、情報を整理したり、分解したりするなど資料の読み解き方を身に付ける。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					各資料の基本的な読み解き方を身につけ、例題や基本問題を解くことができる。	
		○				過去問の演習を通し、実際に出題されるレベルの問題を解けるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> 『絶対合格シリーズ【数的推理・資料解釈】テキスト編、問題集編、ドリル編』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年) ・授業時に配布されるプリント 						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1章 導入①(重要ポイント1~2) 図表の見方、割合の計算					
	2	第1章 導入②(重要ポイント3~4) 割合の計算、増減率					
	3	第1章 導入③(重要ポイント5) 分数の大小比較					
	4	第2章 実数と構成比①(導入)				問題集からテキストで扱った類似問題を学習する。	
	5	第2章 実数と構成比②				問題集からテキストで扱った類似問題を学習する。	
	6	第3章 指数と構成比①(導入)				問題集からテキストで扱った類似問題を学習する。	
	7	第3章 指数と構成比②				問題集からテキストで扱った類似問題を学習する。	
	8	第4章 増減率①(導入)				問題集からテキストで扱った類似問題を学習する。	
	9	第4章 増減率②				問題集からテキストで扱った類似問題を学習する。	
	10	第5章 その他の資料				問題集からテキストで扱った類似問題を学習する。	
	11	第6章 問題演習①					
	12	第6章 問題演習②					
	13	第6章 問題演習③					
	14	演習プリント(混合問題)					
	15	演習プリント(混合問題)					
評価方法	4月~7月の模擬試験における教科正答率(模擬試験における資料解釈の正答率)を100点満点に換算し評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがある。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	適性一般知識演習				
科目名(英)					
単位数	5単位	時間数	75時間	担当者	安藤 亮英/江藤 弘明/ 高木 愛/豊田 亮/横山 真太郎
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員専攻科1年				
授業概要	事務適性試験の反復練習を実施し、適性試験に慣れることと処理速度をあげること身につけさせ、点数向上を目指す。また、前週及び前日までに実施された授業について演習試験で確認を行うことで、授業内容の理解と修得状況の確認を行い知識の定着を図る。				
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
テキスト・教材 参考図書	・実務教育出版 適性試験No.1～No.100 ・一問一答暗記テキスト2022年度『原点』 ・『絶対合格シリーズ【社会科学】【人文科学】【自然科学】テキスト編』 (株式会社麻生キャリアサポート、2022年)				
回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
1	事務適性試験・一般知識演習1				
2	事務適性試験・一般知識演習2				
3	事務適性試験・一般知識演習3				
4	事務適性試験・一般知識演習4				
5	事務適性試験・一般知識演習5				
6	事務適性試験・一般知識演習6				
7	事務適性試験・一般知識演習7				
8	事務適性試験・一般知識演習8				
9	事務適性試験・一般知識演習9				
10	事務適性試験・一般知識演習10				
11	事務適性試験・一般知識演習11				
12	事務適性試験・一般知識演習12				
13	事務適性試験・一般知識演習13				
14	事務適性試験・一般知識演習14				
15	事務適性試験・一般知識演習15				
16	事務適性試験・一般知識演習16				
17	事務適性試験・一般知識演習17				
18	事務適性試験・一般知識演習18				
19	事務適性試験・一般知識演習19				
20	事務適性試験・一般知識演習20				
21	事務適性試験・一般知識演習21				
22	事務適性試験・一般知識演習22				
23	事務適性試験・一般知識演習23				
24	事務適性試験・一般知識演習24				
25	事務適性試験・一般知識演習25				
26	事務適性試験・一般知識演習26				
27	事務適性試験・一般知識演習27				

授業計画	28	事務適性試験・一般知識演習28	
	29	事務適性試験・一般知識演習29	
	30	事務適性試験・一般知識演習30	
	31	事務適性試験・一般知識演習31	
	32	事務適性試験・一般知識演習32	
	33	事務適性試験・一般知識演習33	
	34	事務適性試験・一般知識演習34	
	35	事務適性試験・一般知識演習35	
	36	事務適性試験・一般知識演習36	
	37	事務適性試験・一般知識演習37	
	38	事務適性試験・一般知識演習38	
	39	事務適性試験・一般知識演習39	
	40	事務適性試験・一般知識演習40	
	41	事務適性試験・一般知識演習41	
	42	事務適性試験・一般知識演習42	
	43	事務適性試験・一般知識演習43	
	44	事務適性試験・一般知識演習44	
	45	事務適性試験・一般知識演習45	
	46	事務適性試験・一般知識演習46	
	47	事務適性試験・一般知識演習47	
	48	事務適性試験・一般知識演習48	
	49	事務適性試験・一般知識演習49	
	50	事務適性試験・一般知識演習50	
	51	事務適性試験・一般知識演習51	
	52	事務適性試験・一般知識演習52	
	53	事務適性試験・一般知識演習53	
	54	事務適性試験・一般知識演習54	
	55	事務適性試験・一般知識演習55	
	56	事務適性試験・一般知識演習56	
	57	事務適性試験・一般知識演習57	
	58	事務適性試験・一般知識演習58	
	59	事務適性試験・一般知識演習59	
	60	事務適性試験・一般知識演習60	
	61	事務適性試験・一般知識演習61	
	62	事務適性試験・一般知識演習62	
	63	事務適性試験・一般知識演習63	
	64	事務適性試験・一般知識演習64	
	65	事務適性試験・一般知識演習65	
	66	事務適性試験・一般知識演習66	
	67	事務適性試験・一般知識演習67	
	68	事務適性試験・一般知識演習68	
	69	事務適性試験・一般知識演習69	
	70	事務適性試験・一般知識演習70	
	71	事務適性試験・一般知識演習71	
	72	事務適性試験・一般知識演習72	

	73	事務適性試験・一般知識演習73					
	74	事務適性試験・一般知識演習74					
	75	事務適性試験・一般知識演習75					
評価方法	適性演習試験、演習試験を実施し、正答率を100点満点に換算し評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	適性演習試験	◎	◎				80%
	一般知識演習試験	◎	◎				20%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	知識知能演習					
科目名(英)						
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	安藤 亮英/江藤 弘明/ 高木 愛/豊田 亮/横山 真太郎	
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員専攻科1年					
授業概要	社会科学・人文科学・自然科学・数的推理・判断推理・資料解釈・文章理解について、問題演習と解説を行うことにより知識と知能の定着を図る。加えて、当該科目の通常コマの授業で展開できなかった知識と解法を新たに学ぶ。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				知識科目各分野基本問題において、70%の正答率を出せるようになる。
	○	○				知能科目各分野の基礎理解を深め、70%の正答率を出せるようになる。
テキスト・教材 参考図書	・授業時に配布するプリント					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)①			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。	
	2	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)①			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。	
	3	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)②			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。	
	4	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)②			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。	
	5	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)③			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。	
	6	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)④			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。	
	7	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)③			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。	
	8	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑤			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。	
	9	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑥			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。	
	10	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)④			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。	
	11	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑦			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。	
	12	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑧			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。	
	13	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)⑤			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。	
	14	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑨			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。	
	15	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑩			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。	
	16	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)⑥			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。	
	17	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑪			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。	
	18	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑫			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。	
	19	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)⑦			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。	
	20	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑬			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。	
	21	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑭			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。	
	22	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)⑧			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。	
	23	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑮			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。	
	24	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑯			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。	
	25	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)⑨			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。	
	26	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑰			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。	
27	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑱			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		

	28	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)⑩	授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。				
	29	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑪	授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。				
	30	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑫	授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。				
	31	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)⑪	授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。				
	32	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑬	授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。				
	33	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑭	授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。				
	34	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)⑫	授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。				
	35	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑮	授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。				
	36	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑯	授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。				
	37	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)⑬	授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。				
	38	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑰	授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。				
	39	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑱	授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。				
	40	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)⑭	授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。				
	41	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑲	授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。				
	42	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑳	授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。				
	43	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)⑮	授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。				
	44	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)㉑	授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。				
	45	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)㉒	授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。				
評価方法	4月11日から7月29日までの期間で実施する知識・知能演習問題採点結果の平均得点ないし平均得点率を100点満点に換算し評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	知識演習採点結果	◎	◎				50%
	知能演習採点結果	◎	◎				50%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	公務員リテラシー I (作文・面接)						
科目名(英)							
単位数	4単位 (1単位に相当)	時間数	15時間/65時間	担当者	安藤 亮英/江藤 弘明/ 高木 愛/豊田 亮/横山 真太郎		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	作文試験や面接試験に向けて、ペン字を通して人に見られる文字の大切さを学び、面接カードの書き方や原稿用紙の使い方を理解していく。また、自分自身の過去を振り返り、改めて公務員になることを振り返り、それを面接カードに表現できるようになるとともに一般常識・時事についても学んでいく。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				ペン字を通じ、文字の丁寧な書き方や封筒記入方を学び表現できる。	
	○	○				作文の書き方を学び、文章で自分の考えを表現できる。	
	○	○				面接カードの書き方を通じ、他者へ自分を伝える時に、何が大切な項目かを考えることができる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時に配布されるプリント ・合格手帳 ・作文用紙 						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	作文導入					
	2	ペン字①					
	3	作文①					
	4	ペン字②					
	5	作文②					
	6	面接導入					
	7	ペン字③					
	8	作文添削授業①					
	9	面接ノート書き(自分史・志望動機・長所・短所、自己PR)					
	10	作文添削授業②					
	11	一般常識対策①					
	12	一般常識対策②					
	13	一般常識対策③					
	14	時事対策①					
15	時事対策②						
評価方法	提出物により評価を行う。この評価は(作文・面接)兼(職種理解)兼(模試期集中講義)これら3分野共通の評価方法を採用する。評価条件を満たしている場合にはR評価(合格)とし、満たない場合にはD評価(不合格)とする。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	作文	◎	◎				40%
	ペン字の課題提出	◎	◎				30%
	面接カードの提出	◎	◎				30%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	公務員リテラシー I (職種理解)						
科目名(英)							
単位数	4単位 (1単位に相当)	時間数	15時間/65時間	担当者	安藤 亮英/江藤 弘明/ 高木 愛/豊田 亮/横山 真太郎		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	公務員の職種紹介にて様々な職業理解を深め、進路選択の幅を広めるとともに学習方法や身だしなみ、受験申込み上の注意点などを理解することで、公務員試験に合格するための準備を行う。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					公務員の各職種を理解し、志望先を正しく選択することができる。	
		○				公務員試験を受験する様々な手続きを確実に行うことができる。	
テキスト・教材 参考図書	・授業時に配布されるプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	勉強の仕方 + 適性ガイダンス					
	2	海保 + 学校・警察事務					
	3	警察・消防 + 市役所・県庁					
	4	自衛隊 + 受験会場での注意事項					
	5	刑務官 + 入国警備官・皇宮護衛官					
	6	模試を解くにあたっての注意事項					
	7	国家一般職① + 税務					
	8	国家一般職② + 特別区					
	9	国家一般職・税務の申し込み注意事項					
	10	面接検定の説明 + 面接カード作成の注意点					
	11	受験申込み上の注意事項					
	12	オススメ受験先の紹介					
	13	面接検定準備①					
	14	面接検定準備②					
15	模試期の説明						
評価方法	提出物により評価を行う。この評価は(作文・面接)兼(職種理解)兼(模試期集中講義)これら3分野共通の評価方法を採用する。評価条件を満たしている場合にはR評価(合格)とし、満たない場合にはD評価(不合格)とする。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	作文	◎	◎				40%
	ペン字の課題提出	◎	◎				30%
	面接カードの提出	◎	◎				30%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	公務員リテラシー I (模試期集中講義)					
科目名(英)						
単位数	4単位 (2単位に相当)	時間数	35時間/65時間	担当者	安藤 亮英/江藤 弘明/ 高木 愛/豊田 亮/横山 真太郎	
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員専攻科1年					
授業概要	教養試験・作文試験など公務員一次試験に向けた知識の習得と理解度を深める授業を実施する。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○	○				一次試験で問われる知識を習得し、模擬試験で7割以上正答できる。
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時に配布されるプリント ・高卒程度公務員試験過去出題問題 					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	社会科学集中講義①				
	2	社会科学集中講義②				
	3	社会科学集中講義③				
	4	社会科学集中講義④				
	5	社会科学集中講義⑤				
	6	社会科学集中講義⑥				
	7	人文科学集中講義①				
	8	人文科学集中講義②				
	9	人文科学集中講義③				
	10	人文科学集中講義④				
	11	人文科学集中講義⑤				
	12	人文科学集中講義⑥				
	13	自然科学集中講義①				
	14	自然科学集中講義②				
	15	自然科学集中講義③				
	16	自然科学集中講義④				
	17	自然科学集中講義⑤				
	18	自然科学集中講義⑥				
	19	判断推理集中講義①				
	20	判断推理集中講義②				
	21	判断推理集中講義③				
	22	判断推理集中講義④				
	23	判断推理集中講義⑤				
	24	判断推理集中講義⑥				
	25	数的推理集中講義①				
	26	数的推理集中講義②				
27	数的推理集中講義③					

	28	数的推理集中講義④					
	29	数的推理集中講義⑤					
	30	数的推理集中講義⑥					
	31	文章理解集中講義①					
	32	文章理解集中講義②					
	33	文章理解集中講義③					
	34	適性試験集中講義①					
	35	適性試験集中講義②					
評価方法	提出物により評価を行う。この評価は(作文・面接)兼(職種理解)兼(模試期集中講義)これら3分野共通の評価方法を採用する。評価条件を満たしている場合にはR評価(合格)とし、満たない場合にはD評価(不合格)とする。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	作文	◎	◎				40%
	ペン字の課題提出	◎	◎				30%
	面接カードの提出	◎	◎				30%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	公務員リテラシーⅡ						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	50時間	担当者	安藤 亮英/江藤 弘明/ 高木 愛/豊田 亮/横山 真太郎		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	公務員一次試験の後に、面接試験など二次試験に向けた知識の習得と、教養試験の理解度を深める授業を実施する。授業運営に関しては、前記の内容を2つのグループに分けて実施する。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				教養試験で問われる知識を習得し、模擬試験で6割以上正答できる。	
	○	○				二次試験で問われる知識を習得し、効果的な自己PRができるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・合格手帳(受験手帳) ・高卒程度公務員試験過去出題問題 						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
		■面接試験対策グループ					
	1	【面接試験対策】①面接必要書類作成					
	2	【面接試験対策】②自己分析					
	3	【面接試験対策】③面接対応演習:個別面接					
	4	【面接試験対策】④面接対応演習:集団面接					
	5	【面接試験対策】⑤集団討論演習					
	6	【面接試験対策】⑥グループワーク演習					
		■筆記試験対策グループ					
	7	【筆記試験対策】①地方公務員試験型Ⅰ ※試験形式に応じた問題演習を実施。					
	8	【筆記試験対策】②地方公務員試験型Ⅱ ※試験形式に応じた問題演習を実施。					
	9	【筆記試験対策】③地方公務員試験型Ⅲ ※試験形式に応じた問題演習を実施。					
10	【筆記試験対策】④地方公務員試験型Ⅳ ※試験形式に応じた問題演習を実施。						
11	【筆記試験対策】⑤地方公務員試験型Ⅴ ※試験形式に応じた問題演習を実施。						
評価方法	面接試験対策グループは合格手帳(受験手帳)、筆記試験対策グループは解答マークシートの提出により評価を行う。評価条件を満たしている場合にはR評価(合格)とし、満たない場合にはD評価(不合格)とする。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがある。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	提出物	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	一般教養演習						
科目名(英)							
単位数	9単位	時間数	140時間	担当者	安藤 亮英/江藤 弘明/ 高木 愛/豊田 亮/横山 真太郎		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	模擬試験を用い実際の試験形式と同様に実施する。 各種形式の模擬試験に慣れるとともに、試験結果から理解度を確認し復習と定着に繋げる。 8月1日～9月23日までの期間で実施する全35回の模試演習を下記の内容で実施する(1回あたりの演習時間は4時間程度である)。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				模擬試験で、各回とも7割以上正答できる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・高卒程度公務員試験過去出題問題 ・麻生公務員専門学校制作「地域統一模擬試験」 ・麻生キャリアサポート制作模擬試験 						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
		1. 国家一般職・税務 6回					
		2. 裁判所職員 2回					
		3. 東京都 2回					
		4. 東京特別区 4回					
		5. 東京消防庁 2回					
		6. 刑務官 6回					
		7. 海保入警皇宮 7回					
		8. 警視庁 2回					
		9. 地域統一模試 3回					
		10. 麻生キャリアサポート制作模擬試験 1回					
評価方法	模擬試験採点結果・・・8月2日～9月24日までの期間で実施する全35回の平均得点ないし平均得点率を100点満点に換算し評価する。時事問題など本年度本試験対応に適切でない問題については計算の基礎から除外する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがある。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	一般教養解説講義						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	70時間	担当者	安藤 亮英/江藤 弘明/ 高木 愛/豊田 亮/横山 真太郎		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	模擬試験問題についての解説を実施する。重要問題と誤解答が多かった問題について重要項目の内容説明と解法解説を実施し理解を深める。8月1日～9月23日までの期間で実施する全35回の模試演習の解説講義を下記の「授業計画」で示す内容で実施する(1回あたりの演習時間は2時間程度)。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				模擬試験で、各回とも7割以上正答できる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・高卒程度公務員試験過去出題問題 ・麻生公務員専門学校制作「地域統一模擬試験」 ・麻生キャリアサポート制作模擬試験 						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
		1. 国家一般職・税務 6回					
		2. 裁判所職員 2回					
		3. 東京都 2回					
		4. 東京特別区 4回					
		5. 東京消防庁 2回					
		6. 刑務官 6回					
		7. 海保入警皇宮 7回					
		8. 警視庁 2回					
		9. 地域統一模試 3回					
		10. 麻生キャリアサポート制作模擬試験 1回					
評価方法	8、9月期に実施する一般教養演習の各回の平均点を算出し、各学生の得点の平均点の差を100点満点に換算して評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。対象となる確認テストは別途告知する。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						